読者のひろば

このコーナーは、皆さんからの身近な話題を紹介させていただくページです。

薩摩川内に越してきて、買い物に行くたびに違和感を覚えた。レジの人が袋詰めをしてくれるお店が多い。買う物が多いときは、「袋詰めをお願いいたします。」と言ってくれる。慣れてくると、当たり前になってしまうが…。県外では、袋詰めはお互いに当たり前だったし、レジ袋が有料だったりもする。〈ありがとう〉の反対言葉は〈当たり前〉ということを学んだ。だから最近は、レジに行くたびに「ありがとう」と言うように心掛けている。

（投稿マダム・39歳女性）

◆

お便りを拝見させていただき、普段〈当たり前〉と思っていることは、本当は〈ありがたい〉ことだと気付かされました。当たり前と思っていることへも感謝の気持ちを忘れずにいたいものです。

友人のご主人はれっきとした薩摩人。結婚して20年になるそうで、話の端々から、「お～、さすが薩摩人」と思うことが多い。その友人が、最近うれしいことがあったと言う。ある晩、「あれこれあって、（高校生の）息子に朝お弁当作ってやれない。どうしよう…」と言ったら、「よし、俺が作ってやろう」と、次の日はご主人が早朝から腕を振るってくれたのだそうだ。

息子の弁当を作ってやる薩摩男児がいる！…時代は変わりつつあるようです。

（イクメンサポーター・49歳女性）

◆

薩摩男児？の私も妻の具合が悪い時に、料理本を見よう見まねで作ったことがありますが…妻のありがたさを知ることができた瞬間でした。

ほかの動物には見られない猿知恵について。

その一、水引町の農家で自治会長さま宅の庭に突然猿が現れた。奥さまびっくりして追っ払うと床下に逃げ込んだ。外に追い出そうと床下の長い竹をガタガタ揺さぶった。ところが猿も同じようにガタガタ揺さぶり返した。

その二、水引町で理容店さまの後ろ庭の犬小屋の犬が盛んにほえるので行ってみると、猿が犬小屋の屋根に登って犬を見下ろしながら体重をかけ、力を入れて屋根を揺すっていた。

人間先祖の仕業。

（草水のドンガメ・75歳男性）

◆

ほかの動物にはない、ずる賢さというか、ふてぶてしさを感じます。人間先祖の仕業とはいえ、利口過ぎるのも玉にきずですね。

市の広報紙に、以前隈之城小学校の紹介が記されていました。校庭の真ん中に今もでんと立つ樹齢135年のセンダンの木の写真に見入りました。

時々実家に行くときもわざわざ遠回りをして、隈之城小学校の前を通り車を止めて、たくさんの子どもたちを見守ってくれているセンダンの木を心ゆくまで眺めています。そして「あっ、あそこの辺りに二宮金次郎の銅像もあったな」と独り言を言っています。

あれから60数年、いやそれ以上の年月を経た今も母校とはこんなにも心を優しくしてくれるのでしょうか。あのセンダンの木がいつまでもいつまでも子どもたちを優しく育み、見守ってくれることを念じています。

（入来のTばあちゃん・77歳女性）

◆

きっとそのセンダンの木には〝入来のTばあちゃん〟さんの思い出がたくさん詰まっているのでしょうね。母校はいつまでも色あせない思い出の宝箱みたいなところだと思います。

当コーナーにお便りなどが掲載された皆さんへ、竹ノート（A５判・非売品）をプレゼントします。このノートは、中越パルプ工業（株）川内工場様のご好意によるものです。お便り お待ちしています。

お便り募集 読者のひろば

広報室では、お便り、絵手紙、写真などを募集しています。

皆さんの身近な出来事などで紹介したい・伝えたい・心温まる話などをお寄せください。

【投稿について】＝

▼お便り＝字数200字以内

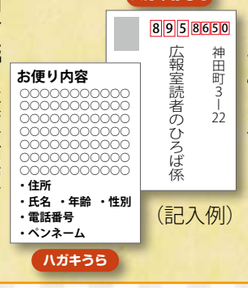
▼絵手紙・写真＝題名を記入

＊住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入が無い場合は、実名で記載させていただきます）を記入の上、広報室までご投稿ください。文章は、必要に応じて添削する場合があります。

＊投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報室まで

✉ koho@city.satsumasendai.lg.jp

＊紙面の都合上、掲載できないこともあります。



（記入例）

【問合先】＝本庁広報室 ☎（23）5111（内線632）

川内駅での募金活動の様子

◎表紙の説明

九州新幹線全線開業！きやんせふるさとフェスタ開催 被災地へ向けた義援金の呼び掛けも

３月12日（土）・13日（日）に開催された第８回きやんせふるさとフェスタのオープニングセレモニーの様子（写真左から全日本女子バレーボール真鍋監督・第７回東宝シンデレラオーディションでグランプリの上白石萌歌（かみしらいしもか）さん・同オーディションで審査員特別賞の上白石萌音（かみしらいしもね）さん・全日本男子バレーボール植田監督）。

川内駅前広場（西口・東口）で、食のじまん市や特産品販売、フリーマーケット、大綱練りなどが行われました。

また会場では、同フェスタの実行チーム員らによる東北地方太平洋沖地震の被災者へ向けた災害義援金の募金活動も行われました。来場された多数の方々から２日間で計311，833円もの義援金をいただきました。皆さまの義援金へのご協力に感謝を申し上げるとともに、被災地の皆さまの一日も早い復興をお祈りいたします。

東北地方太平洋沖地震の義援金を受け付けています

３月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震の被災者に対する義援金箱を市役所本庁（２階ロビー）・各支所、市社会福祉協議会本所・各支所に設置しています。皆さまのご協力をお願いいたします。なお、３月25日（金）までに寄せられた義援金額は9,788,404円です。

また、電話やメールによる義援金詐欺が発生しています。義援金や募金をされる際には、十分ご注意ください。

【問合先】＝■本庁障害・社会福祉課社会福祉グループ
☎(23)5111（内線2171）
および各支所市民生活課
■市社会福祉協議会　本所
☎(22)2355
および各支所

■発　行

薩摩川内市
〒895-8650　鹿児島県薩摩川内市神田町3-22
☎ 0996（23）5111　FAX 0996（20）5570
☎ 0996（22）8115（直通）
＊音声案内後に内線番号を押してください。
閉庁日および時間外　☎ 0996（23）5115

■編　集

本庁企画政策部広報室（内線632・633）
✉ koho@city.satsumasendai.lg.jp

■各支所

樋脇支所	〒895-1292	樋脇町塔之原1173
	☎ 0996（37）3111	FAX 0996（37）2252
入来支所	〒895-1492	入来町浦之名33
	☎ 0996（44）3111	FAX 0996（44）3117
東郷支所	〒895-1106	東郷町斧渕362
	☎ 0996（42）1111	FAX 0996（42）0767
祁答院支所	〒895-1595	祁答院町下手67
	☎ 0996（55）1111	FAX 0996（55）1021
里支所	〒896-1192	里町里1922
	☎ 09969（3）2311	FAX 09969（3）2912
上甑支所	〒896-1201	上甑町中甑481-1
	☎ 09969（2）0001	FAX 09969（2）1490
下甑支所	〒896-1696	下甑町手打819
	☎ 09969（7）0311	FAX 09969（7）0753
鹿島支所	〒896-1392	鹿島町藺牟田1457-10
	☎ 09969（4）2211	FAX 09969（4）2672

■広報電話

0120（894）256（やくしょにコール）
＊夜間救急当番医やイベント・防災行政無線の放送内容などの情報が電話で確認できます。

■市ホームページ

http://www.city.satsumasendai.lg.jp

担当者の声　STAFF'S VOICE

巨大地震で、家も家族も友人も一瞬にして失い一人残って、お母さんと叫ぶ娘さんを見ていると胸が締め付けられる様ないたたまれない気持ちになった。だいぶ前に日本沈没という映画を見た時の映像が思い浮かんだ。亡き父が、晩酌をしている時によく口にしていた言葉が「お前たちには俺の気持ちは分からんどが。」大津波の跡の悲惨な光景を見ると戦場経験者の父の言葉が少し理解出来るような気がした。

世の中どんなことがあるか誰にも予測出来ない。毎日を悔いが残らないよう精一杯生きなければと思った。　（谷口）

防災無線で声が届く限り住民の皆さんへ避難を呼びかけた娘さん、娘さんの声を聞きながら避難されたお母さん、その心中を考えるとなんとも言えない気持ちになります。突然発生する地震、自然の恐ろしさを改めて感じさせられました。日が経つにつれ明らかになる被害の甚大さに愕然としますが、日本中、世界中の方々が助けになりたい、少しでも役に立ちたいと行動されています。被災された方々に一日でも早く笑顔が戻りますように、今、自分にできることを考え、できる限りのことをしていきたいと思います。　（髙橋）